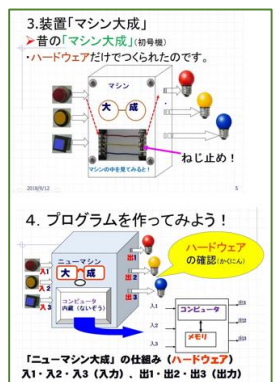


工業高校による地域の小中学生を対象とした プログラミング教育支援実践事例

6

学校名	北海道苫小牧工業高等学校
テーマ	プログラミングを身近に感じることができる出前授業
対象	小学5年生(2学級53名)
実施日	平成30年9月18日、21日、両日とも5～6校時(13:25～15:00)
連携先	苫小牧市立大成小学校

- 本校では、これまで市内の小中学生等を対象とした「ものづくり教室」を実施し、生徒の学習成果を広く紹介してきましたが、この度、プログラミング教育に力を入れている小学校からの依頼があり、同校でプログラミング教室(出前授業)を開催しました。
- 内容は、小学校の先生方とも相談し、プログラミングとは何かを理解することや、プログラミングされたものは身近にあることを実感できるよう、スイッチとLEDの関係の学習、LEDのはんだ付け、電子オルゴールやクレーンロボット操作体験など幅広く実施し、子どもたちの暮らしと結び付けて理解できる内容となるよう工夫しました。また、生徒の製作した作品を教材として役立てることができました。



「光るのもプログラミングなんだね」



「プログラミングは便利だなあ」



「物を運ぶこともできるんだね」

- 同小学校では、3・4年生でアンプラグド教材、5年生ではこの出前授業のほかに市販教材、6年生では苫小牧高専と連携した授業を行う予定としています。また、校長先生から、この出前授業について次のまとめをいただいていますので、ご紹介します。

「苫小牧市立大成小学校・北海道苫小牧工業高等学校プログラミング学習の記録」

CLICK!

参加者の声

- ・「プログラミングで電気をつけたり校歌を流したりしてすごいと思った」(小5)
- ・「プログラミングはややこしいけど意外と簡単でした」(小5)
- ・「ぼくは作ることが好きなので工業高校に入りたいです」(小5)
- ・「プログラミングについて工業高校など外部の協力が得られるとありがたい」(校長)

工業高校の教育力を地域に還元！ 未来を担う技術者を育成！

keyword

小学生, 自作教材, 電子工作,
出前授業, 低予算, 地域連携

その先の、道へ。北海道
Hokkaido, Expanding Horizons.
2018年は北海道150年

北海道教育庁学校教育局
高校教育課(キャリア教育指導グループ)